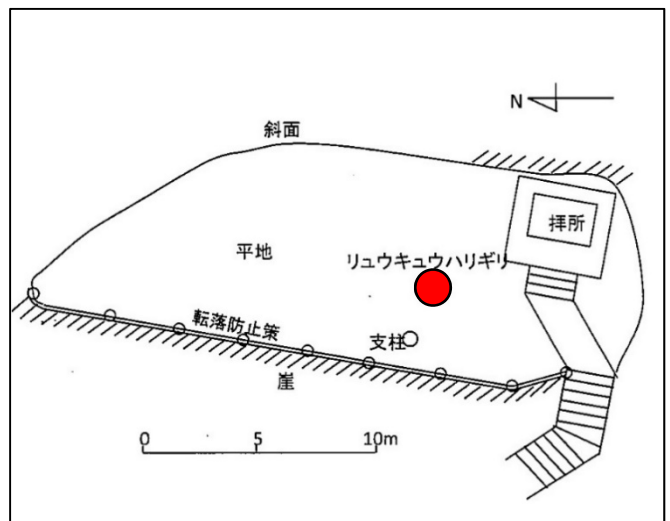


奥間土帝君の大キリ



認定番号 24

樹種名	リュウキュウハリギリ	科名	ウコギ科	方言名	ヤマズク、アホーギー	学名	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb. ex Murray) Koidz. var.				
形状・寸法	樹高 13.0 m	胸高周囲	3.0 m	根本周囲	3.6 m	樹幹占有面積 69 m ²					
	枝下高 1.6 m	枝張	東 3.1 m	西 8.2 m	南 4.1 m	北 3.3 m	最大樹冠幅 11.3 m				
通称	土帝君の大キリ		樹齢	150年(推定)							
所在地	国頭村字奥間1816-1		所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 其他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 其他民有 9 不明							
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拜所 8 市街地 9 街路 10 その他 ()		状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他							
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 その他 7 なし		気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()		地点:名護 年度:2016年 (気象庁HP)	平均気温(°C)	16.7	16.1	18.1	22.7	25.3	28.1	
	土地傾斜			降水量(mm)	237.0	123.0	212	357.0	124.5	309.5	
土壌	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:		平均風速(m/s)	4.0	4.5	3.7	3.6	3.2	3.5		
	土壌		風向	NNE S S NNE S WNW		月	7月	8月	9月	10月	11月
基岩・母材	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()		風向	S NNE SSW SSE NNE N		年平均気温	23.6 °C		最高気温	34.1 °C	
	地形	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪地 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他		潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)		日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良			
土性		1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない		周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))		周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし			
	根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし		周辺樹木との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている						

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m 材質 柵内面積 m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他
過去の治療歴と内容	無し
故事来歴	1 無し 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無し 5 いわれの内容 土帝君は村落の守護神、豊年満作祈願の対象とされ、大キリは拜所の神木的存在。 6 不明
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無し (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無し (有の場合植物の種類 オオタニワタリ、ガジュマル、ポウラン、ドラゴンフルーツ) 3 見学・参観者 a 有 b 無し 4 その他

地上部の衰退度判定（認定番号24）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹きひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 2.00

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

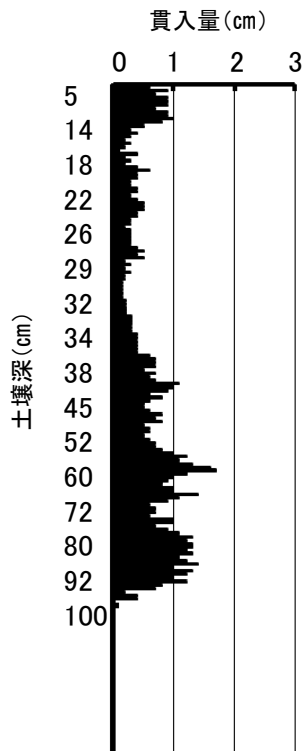
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り		○		
幹折れ		○		
大枝折れ			○	
中・小枝落下			○	
幹の傾斜の増大		○		
その他()				

土壤調査結果（認定番号 24）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	10YR3/3	0-4	団粒状	砂壤土	7.4	2.3
II	10YR4/4	4-7	堅果状	砂壤土		
III	10YR3/3	7-13	塊状	砂壤土		
IV	10YR3/3	13-24	塊状	砂壤土		
V	10YR4/3	24-	塊状	壤土		

土壤貫入量結果



認定番号 24

奥間土帝君の大キリ

部位	所見	対応
土壌	・北側深さ 30 cmの箇所若干固結箇所がみられるが、概して土層は深く、物理性も良好である。	・無し。
根	・露出根は認められない。 ・東面地際部に開口空洞が見られるが、根の分岐によるものであり、傷ではないと思われる。	・無し。
幹	・高さ 1.5～2m で東方向に捻れが生じて樹形が東方向に偏っている。今後幹の傾斜が生じる可能性が考えられる。	・支柱の設置を検討する。この際、大枝も含めて配置を検討する。
	・東面高さ 1.5m の部位が大きく捻れているが腐朽は認められない。	・無し。
	・シロアリの生息が見られる。	・シロアリの駆除を検討する。
枝	・南西側の大枝の付け根に亀裂が見られる。	・支柱の再設置を検討する。
	・西方向に伸びる大枝基部が切断されているが、大きな腐朽は認められない。	・無し。
葉	・落葉期で判然としないが、残っている葉の量は少なく、かつ小さい。	・無し。
備考	<p>・3本の既設の支柱は大枝に食い込んでいる。</p> <p>・3本の既設の支柱の位置を再検討する必要がある。(幹に近い大枝の支柱はその先に移すのが望ましい。)</p>	

